

ぐるっと美保関 鉄と石文化を伝える歩行空間創出実験

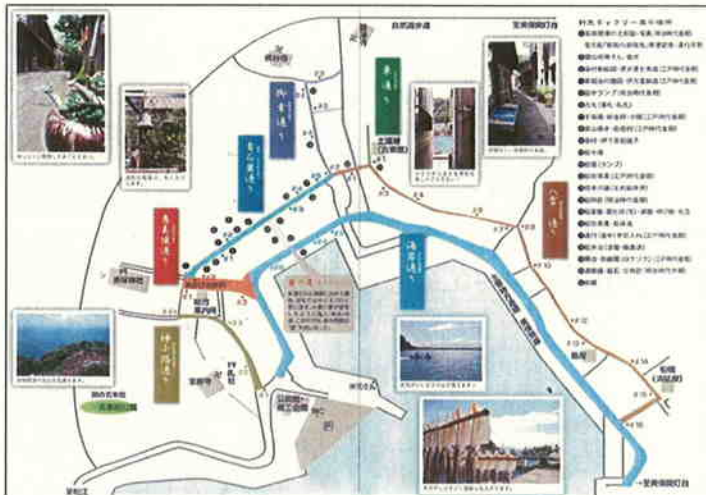
松江市美保関地区は島根半島の東端に位置し、背後の切り立った山並みと地形に沿って湾入する港により形成される人口約 730 人の漁村で、漁業と観光を基幹産業として発展してきた地区であり、国の重要文化財に指定される美保神社等、名所・旧跡を多く有する地区です。また、長さ約 250mにわたり石畳を敷き詰めた「青石畳通り」が存在し、江戸～明治時代に北前舟の寄港地として栄えた当時を偲ばせる風情を醸しています。

しかしながら、地域への観光入り込み客数は年々減少し、観光地としての活力・賑わいの低下と地域の活力の低下が著しく、豊富な地域資源を生かした観光地としての魅力の再生が課題となっています。

このような状況を踏まえ、イメージ歩道の設置、駐車場の利用誘導と共に、地域資源が有する魅力の効果的な発信や観光客の滞在時間の延伸を目的として、通り名で道案内の社会実験を実施しました。



通り名で道案内マップ



←クリックでPDF(〇〇MB)がダウンロードできます。

マップは、同時開催イベントで北前舟に関連する遺物を軒先に展示する「軒先ギャラリー」(左下写真)と連携し、展示品の位置や解説を掲載しました。



ヒアリング調査結果

社会実験に対する評価を把握するため、地域住民と事業所に対するアンケート調査を行いました。

- 実施期間 : 平成 19 年 12 月 7 日～20 日(地域住民)
平成 19 年 12 月 11 日～20 日(事業所)
- 実施方法 : 区長による各戸への配布、回収(地域住民)
郵送配布、郵送回収(事業所)
- サンプル数: 各グラフに記載

■ 通り名で道案内の取組みの、街巡りへの有効性について、50%の方が「有効と思う」、「やや有効と思う」と回答■

■ 66.6%の方が「有効と思う」、「やや有効と思う」と回答■



- 有効と思う
- やや有効と思う
- どちらとも言えない
- あまり有効と思わない
- 有効と思わない